



1



2

1 水害にあった商品は農家さんが被害を受けにくいよう会社で買い取った2 パレットの上に避難できた商品は一部のみであった

### 青果物の大量廃棄 施設設備も大損害



▲鹿児島中央青果株式会社 鹿屋支店長 小川 義文 さん

この場所で事業を開始して20年経ちますが初の経験でした。雨量が増した早朝、6時に敷地内への浸水を確認しました。一旦8時頃には収まり、9時からせりを再開しようとしたその矢先、10分もしないうちに早朝とは比べものにならない程せり場の水位が上昇。外は恐らく80cmほど、人の腰近くまでは水位が上がっていたように思います。

従業員で品物を高い場所に積み上げる作業を必死で行いました。しかし、水位の上昇が早く、流されている商品が続出。また、先に積んでいた品物はダンボールが水に浸かって潰れ、被害を受けました。そのほか冷蔵庫などの設備機器も故障し、浸水により中の商品も全て駄目に。雨が落ちてくると昼からは電話が鳴り響き、市場の再開や自身が出荷した作物の心配をする農家さんの不安の声が上がりました。

今回の災害は、5千万円を超える大打撃でしたが、関係機関から支援等をいただき、2日で復旧を図って災害の3日後にはせりを再開することができました。災害を踏まえ、電算関係の移設やせり場に高さを変更できるパレットを整備するなど、現在災害対策を行っています。

## 想定よりも高かった水位がもたらした恐怖



▲鹿屋市消防団祇川分団 分団長 川崎 成敏 さん

現場はパニック できる最善策を打ち続けた

今年で消防団歴36年目ですが、これまで経験したことのない災害でした。「橋に木が引っかかり、道路が冠水したので来てほしい」と連絡があり現場へ急行。現場は胸まで水が浸かる状況で、逃げ遅れた高齢者が2階から助けを呼ぶ声。その方は言いました。「あなたたちここにいてくれるの？」団服を着た人がそこに居て、姿が見えるだけで心強く安心するのだと思います。水が引くまでその場で見守るよう団員に頼みました。

水が引いた後も休む間もなく様々な作業を行い、ひと段落した時はもう19時過ぎ。朝から作業に従事した団員の疲労はピークで、誰一人話せないほど疲弊している様子は今でも忘れることができません。

水害で水の恐ろしさを知りました。しかし一方で、この経験により、その後の台風で地域住民の避難が早く、地域の意識が変わりました。昨年のことを忘れず、今年も早めの避難や自主的な防災に努めてほしいです。

1 石垣の上まで水が浸かる状況の中、避難指示や状況確認作業を行った  
2 大雨により道路が陥没。市内各地で計58箇所の路肩決壊があった



# 想定を超えたあの日を振り返る

誰もが想定していなかった7月豪雨のあの日、現場では何が起っていたのか。あの日を振り返り、被災者や現場で活動する人たちの声を聞きます。



▲串良町有里に住む 西中野 信 さん

災害の日の朝5時頃、外は強い雨が家の裏手の山を見ると木が倒れており、すぐに異変に気がきました。家の周辺も7時頃にはすでに異常が起っており、山からの水が尋常でないのが伺えたので、見回りをやめ、急いで家に引き返ししました。家の裏手は、山の土がトロトロ流れ出している状態。7時40分頃避難準備品を運び出そうと家の前まで歩みを進めたその瞬間でした。目の前でドスンと土砂が崩れ、ものの数秒で土砂が家のドアを塞ぎました。土砂崩れ後は、不規則に「キシッ」と建物が軋む音が聞こえ、さらなる

## 間一髪の連続 どこに逃げていいか 分からなかった

危険を感じました。ここは危ないと思いい、同敷地内に住む親を連れ、急ぎ親戚の家へ車で走り出しました。その後も状況は変わり続け、家の前で待っていた妻は破裂した水道管を確認したそうです。危険を感じた妻は逃げる準備を始めました。どこに逃げればいいのかわからず、消防署や警察署などに電話をするという発想もなく、ただひたすら逃げることを考えました。車で家の前を進むと、道の上の方から流れてきた水が泥水に変わり、激流と共に木の根っこごと流木が眼の前を横切りしました。車の前方ギリギリのところだったので、あともう少し前に出ていれば車ごと飲み込まれていたかもしれませんが、自宅では2回目の土砂崩れが起き、家が完全に土砂に飲み込まれました。その勢いはすさまじく、隣にある両親の家にも押し寄せ、家屋2軒が全壊。

1 向かって左側の建物は土砂で完全に埋め尽くされた2 写真で見える部分は建物2階部分



前日に熊本の災害に関する番組をテレビで見ているばかりで、まさか自分たちがこのような体験をするとは思っていませんでした。災害は誰にでも起こり得ます。災害が起きたときどのような行動をとり、どこへ避難するかなどを考える必要があると思います。

- 7/5 7:35 気象台より大雨土砂災害警報発表
- 16:00 市災害警戒本部配備 警戒レベル3 発令
- 23:30 王子橋水防団待機 水位超過 肝属川水閘門調整 各水防団へ広報警戒を順次指示
- 7/6 6:00 鹿屋で最大時間雨量を記録 (109.5mm) (果)鹿児島中央青果(株)鹿屋支店施設内浸水
- 7:00 市災害対策本部設置 警戒レベル4 発令
- 7:40 西中野さん宅裏山土砂崩れ
- 8:00 吉ヶ別府で最大時間雨量を記録 (77.0mm) 高隈で最大時間雨量を記録 (65.0mm)
- 8:30 西中野さん宅2度目の土砂崩れで家屋破損
- 8:50 (果)鹿児島中央青果(株)鹿屋支店施設内浸水拡大
- 9:30 王子橋最高水位を記録 (4.31m)
- 10:00 豊栄橋最高水位を記録 (5.44m)
- 10:40 始良橋最高水位を記録 (3.80m)
- 15:06 大雨警報解除 洪水警報解除
- 7/7 10:00 警戒レベル3へ変更
- 7/8 5:10 気象台より土砂災害警戒情報発表
- 5:30 警戒レベル4 発令
- 7/10 8:00 警戒レベル3へ変更
- 7/13 17:00 市災害対策本部解散